

新潟市議会議員

いしづき幸子 議会活動レポート

16

新潟市議会

市民ネットにいがた 市政報告



2023年度が始まりました。 皆さんの声を市政に繋げていきます。

■ 今年は統一地方選挙の年でしたが、私は無事に議会に戻り3期目をスタートさせました。

議会では「市民ネットにいがた」に所属し、会派長の青木学さん、幹事長の竹内功さんと共に、医療や介護、福祉・教育施策を重視し、暮らしといのち、人権を、政治課題の最優先に活動していきます。また、委員会は「市民厚生常任委員会」「広報委員会」、新たに「農業活性化調査特別委員会委員長」を拝命しました。

■ 地方自治体では、国の議院内閣制と異なり、首長(市長)と議会議員(市議会議員)を住民が直接選挙で選ぶという二元代表制を取っています。市長も私たち市議会議員とともに市民の皆さんから選ばれました。市民を代表する議員として、市長と対等の立場で、適度な緊張感とバランスを保ちながら、積極的に行政の仕事ぶりをチェックしたり、政策提案を行ったり、議員提案条例の制定など、しっかりと議員としての役割を果たしていきます。

■ 2023年度予算は、会派や女性議員の会、多くの議員たちが繰り返し働きかけてきた少子化対策の要である子育て予算が拡充しました。「妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援」として、産後ケア事業の拡充、妊産婦医療費助成の所得制限の撤廃、第3子以降の保育料の軽減制度が進みました。がん治療と社会参加の両立支援として「がん患者アピアランスケアサポート事業」もスタート。これからも皆さんの声を市政に繋げて行きます。

新潟市議会議員

いしづき 幸子

新潟市がん患者 アピアランスケアサポート事業が スタートしました!

■ 目的: がん治療による外見(アピアランス)の変化を補完するウィッグ、胸部補正具、人工乳房などの購入費用を助成することによって、QOL(生活の質)の向上、治療効果の向上を図り、がん患者の治療と社会参加等の両立を支援する。

- 助成対象: ①ウィッグ等 ②胸部補正具(補正下着・パッド) ③人口乳房・人工乳頭
- 助成上限額: 購入費用の1/2 (ウィッグ等 25,000円、胸部補正具 25,000円、人口乳房・人工乳頭 50,000円)
- 予算額: 1,000万円

詳しくは

新潟市ホームページ内
アピアランス事業のページへアクセス

皆さまの市政に関するご意見、ご質問、ご相談はいつでもお寄せください

2023年1月から2023年7月までの

主な活動報告

公務のない日は事務所での仕事の整理や市民相談を受けています。

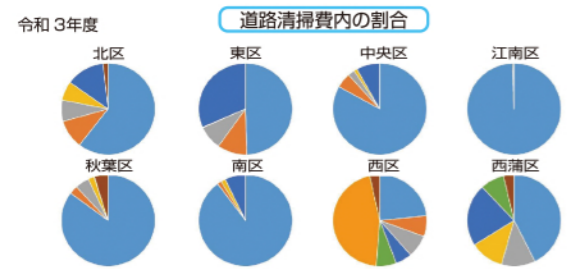
2023年

- 1月16日
にいがた女性会議「新潟市議会女性議員懇談会」参加
- 1月25日
新潟県女性議員の会
「新年度予算編成にあたっての知事・教育長要望」
- 2月6日
ろうあ協会他4団体、担当課と新潟市手話言語条例推進の意見交換会参加
- 2月20日～3月27日
新潟市議会2月定例会
- 2月26日
「身寄りなし問題研究会」
法人設立レセプション参加
- 2月27日
新潟市アピアランスケアサポート事業推進のための当事者との意見交換会参加
- 3月26日
新潟市女性議員の会
「野島晶子副市長を囲む会」開催
- 4月15日～16日
ART MIX JAPAN2023
(アートミックスジャパン) 参加
- 5月14日
女性会議「困難女性への生活支援策」
意見交換会参加
- 5月22日～24日
新潟市議会臨時会
- 6月5日
新潟県女性議員の会総会参加
- 6月12日～30日
新潟市議会6月定例会
- 6月24日
新潟まち遺産の会
「萬代橋周辺の景観とまちづくりセミナー」
参加
- 7月2日
子ども人権ネット CAP・にいがた
2023年度定期総会参加
- 7月18日～20日
市民厚生常任委員会行政視察
(北海道浦河町、千歳市、札幌市)
- 7月21日
新潟市民生委員児童委員大会参加

2023年6月一般質問(3ページ参照) 詳しく解説します! 国道402号沿岸部の飛砂対策について

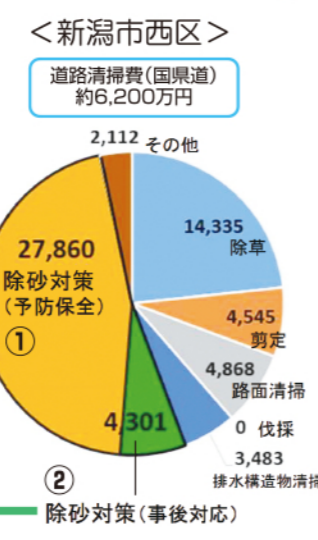
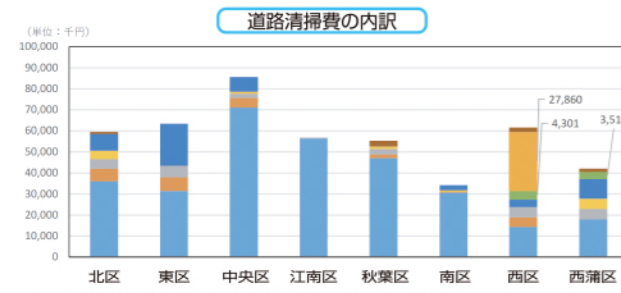
国道402号の海岸沿いの一部は、海岸側に保安林がないことから、長年、飛砂被害に悩まされてきました。対策として、西区では人口砂丘や飛砂防止柵の設置などに取り組み、その結果、国道402号の除砂回数・費用の減少など一定の効果が見られます。

■除砂に関する費用は各区役所に配分された「道路清掃費」によって実施されています。



*「道路清掃費」とは円滑で安全な道路交通環境を確保するため、除草、側溝清掃、街路樹の剪定、路面清掃などを行う経費です。

チェック!
各区は地域特性の違いはあるものの、多くは除草(■)に使われています。しかし、西区は圧倒的に除砂対策(■)に使われています。



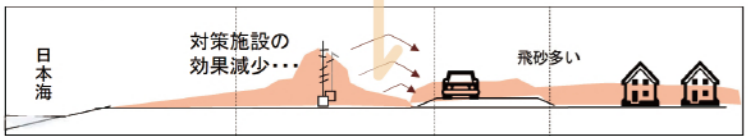
■西区の道路清掃費の半分以上が除砂費用に使われています。

2種類の除砂費用
除砂費用 約3,200万円
2つの事業に分けられます

チェック!
これっておかしい!
これは道路清掃費の用途の範囲をはるかに超えている!

①オレンジ色は「予防保全」で道路の海側に設置した飛砂対策防止柵に積った砂をブルドーザーやダンプを使い通年にわたって取り除く作業 約2,800万円

②緑色は「事後対応」で国道402号に積った砂を道路清掃車などで取り除く費用 約430万円



■質問のキーポイント

石附

一冬で数メートルを超える飛砂防止柵に堆積する飛砂の除去については、道路清掃費とは別に予算配分をしてはどうか。

西区は、飛砂対策の費用が、道路清掃費に大きな影響を与えていることは認識している。今後は効果的な事業執行が可能となるよう、予算編成に向けて検討していきます。

土木部長回答

これにより、除草、側溝清掃、街路樹の剪定を
求める区民の要望に今まで以上に答えることができます。

いしづき
幸子事務所
(市民ネットにいがた西区事務所)
いつでもご相談を
お寄せください

議会や委員会、視察等のない日は事務所にあります。市政に関する様々な相談にのっていますので、お気軽にご相談ください。必要場合は専門職や行政におたずねします。また、月・火・水・木の午後はスタッフがいますのでいつでもお立ち寄りください。

いつでもお立ち寄りください



いしづき幸子事務所

(市民ネットにいがた西区事務所)
〒950-2076 新潟市西区上新栄町 3-4-83
TEL 025-201-8413 FAX 025-201-8423
sachiko-ishizuki@grace.ocn.ne.jp

市民ネットにいがた

市議会会派室
〒951-8550 新潟市中央区学校町通 1 番町 602-1
TEL 025-228-1000

自宅

〒950-2076
新潟市西区上新栄町 4-5-82
TEL 090-5318-5607



2023年 2月定例会 議会報告

一般質問 通告

- 1. 信濃川沿岸地区の良好な景観形成、その計画等の見直しについて
- 2. 新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う学校現場の対応について
- 3. 旧統一教会問題が明らかにした被害への対応について

1 信濃川沿岸地区の良好な景観形成、その計画等の見直しについて

- 新潟市景観審議会の役割と位置づけについて
- 国土交通省策定「河川景観ガイドライン」の萬代橋周辺への適用について
- 信濃川の開放感や萬代橋の美しさを生かした優れたデザインとするため、どのような仕組みを考えているのか

石附質問趣旨

萬代橋周辺の景観は新潟特有の財産と考え、高さ規制の見直しに反対の立場から3回の質問を行い、多様な意見を聞いて合意形成を図るべきと述べてきた。ところが、景観審議会の結論を待たず市長は「高さ制限の見直しが必要」と議場で述べ、私は審議会軽視と考える。その後の審議会では「高さ50メートル規制は将来の新潟に残しておかなければならない大切な基準である」、「特に良好な景観形成に寄与できる計画は、高さ規制を緩和する」をパブリックコメント案とした。萬代橋を生かした優れた景観とするための仕組みを伺う。

2 新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う学校現場の対応について

- 5類移行後の感染症対策、授業や行事の実施方法はどのように変わるか
- マスク着用の考え方の見直しと適切な移行について
- なるべく早めにガイドラインを示すべき

石附質問趣旨

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、新学期から感染症対策、授業や行事の実施方法が変わってくると思われる。またマスク着用について文科省は「学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本とする」と示している。教育委員会としてガイドラインを早期に示し、学校現場がスムーズに移行できるようにすべきでは。

3 旧統一教会問題が明らかにした被害への対応について

- 本市がこれまで把握している霊感商法等による消費者相談の実態と対応について
- 被害者救済法を受けて本市の相談対応や消費者教育の強化について
- 宗教2世への虐待等にかかわる対応について

石附質問趣旨 ※1

12月10日の臨時国会で、被害者救済法が世論の高まりを受け、異例とも言えるスピードで成立した。本市において、これまで把握している霊感商法等による消費者相談の実態と、その法律を受け、今後の対応について伺う。また宗教二世への虐待対応も重要と考える。

もっと 深掘 ※1 「被害者救済法」

(「法人等による寄付の不当な勧誘の防止等に関する法律」)

旧統一教会問題が明らかにした悪質な寄付や高額献金等による被害者救済を図るための法律。日本司法支援センター「法テラス」に電話相談窓口を設置し、関係省庁が一体となって相談対応を実施しています。

*相談窓口はこちら
法テラス 霊感商法対応ダイヤル
0120-005-931 受付時間 9:30~17:00(平日)
未成年の方や、宗教二世・三世の方からのお問い合わせにも対応します!
※国外からの電話によるお問い合わせ050-3383-0010(有料)
※メールによるお問い合わせはこちら(国内外から利用可)▶



025-230-7777

市長 答弁

個人的な感懐を述べただけで、審議会に大きな影響があったとは考えていない。高さ制限については国土交通省策定の河川ガイドラインを高さの1つとして検討して頂き、審議会では「良好な景観の形成と質の高い開発が両立できる計画に限って、萬代橋周辺については高さ75メートルから100メートルを目安とする」とまとまった。高さ50メートルを超える建物については、新潟市景観アドバイザーなどの専門家、建築主、本市による2段階の事前協議と、景観審議会の個別審査制度を新たに導入し、魅力的な都市空間の形成に取り組む。



教育長 答弁

国のマニュアルなどの改訂を踏まえて速やかにガイドラインを見直し、保健所や専門家の意見を聞きながら、各学校園の状況に合わせて柔軟に対応できるよう配慮する。その際、現場との意見交換をしながらより良い学校教育活動が行えるよう学校園を支えていく。

教育長 答弁

いわゆる霊感商法に関する相談は過去5年の年平均は10件ほどであり、法律制定を受け、相談員の相談能力を高め、市民向けの消費者教育の強化も図っていく。また、宗教の名の下での子どもへの不適切な対応に関しては、他の児童虐待相談と同様に、児童の心情に寄り添いながら家族に対し問題の改善を促し、児童の置かれる状況が安心安全なものとなるよう関係機関と連携し支援しています。



2023年 6月定例会 議会報告

一般質問 通告

- 1. 特別な支援を必要とする子どもたちの中学校卒業後の切れ目ない教育の実践について
- 2. 男女共同参画社会の実現に向け女性管理職の積極的登用について
- 3. 国道402号沿岸部の飛砂対策について

1 特別な支援を必要とする子どもたちの中学校卒業後の切れ目ない教育の実践について

- 昨年新設された特別支援教育課のもたらした具体的効果について
- 中学校特別支援学級・新潟市立東西特別支援学校の卒業生の進路状況について
- 市立高等学校における通級指導教室の増設の考えは

石附質問趣旨 ※2

少子化にもかかわらず、特別支援教育を受ける子は10年で倍増している。義務教育が終わり、特別支援学校の卒業生約30人は全て特別支援学校高等部に進学し、特別支援教室の卒業生約200人の4割が特別支援学校高等部、6割が市立、県立、私立高等学校等へ進学している。切れ目ない教育の実践として、進学校での特別な学びの支援について伺う。

2 男女共同参画社会の実現に向け女性管理職の積極的登用について

- 管理職に占める女性の割合と目標達成に届かない理由、その取り組み
- 学校における女性管理職の登用について
- 消防局における女性職員について

石附質問趣旨

本市は官民挙げて女性管理職の登用率のアップに取り組んでいるが、民間企業は13.6%。行政は18.8%と2025年までに目標値30%達成は難しい状況。また学校では18.3%、消防局では女性職員の採用が2001年から始まり女性職員の割合は1.8%で管理職はいない。背景に女性管理職のロールモデルの少なさ、共働き世帯の家事・育児・介護平均時間が女性293分、男性75分が示すように女性の負担が重く両立が難しい現状。目標値達成への取り組みを伺う。

3 国道402号沿岸部の飛砂対策について

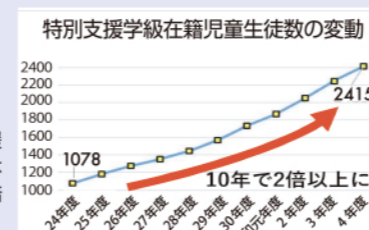
- 国道402号西区海岸部の飛砂対策の取り組み、効果と課題について
- 一冬で数メートルを超える飛砂防止柵に堆積する飛砂については、道路清掃費とは別に予算組みをしてはどうか
- 西区において住宅地を脅かす飛砂被害について

石附質問趣旨 ※詳しい解説は4Pをご覧ください

国道402号の海岸沿いは、冬場を中心に海岸からの飛砂に悩まされてきた。西区では人口砂丘や飛砂防止柵の設置など飛砂対策に取り組み、効果がみられる。除砂に関しては各区に配分される「道路清掃費」で行っているが、一冬で数メートルを超える飛砂防止柵に堆積する飛砂の除去については、道路清掃費とは別に予算組みをしてはどうか。また、住宅地を脅かす飛砂被害についてどのように考えるか。

※2 新潟市の特別支援教育

●新潟市の特別支援学級に通う子どもは10年前に比べて2倍以上に増えています。



(特別支援教育について~新潟市 HPより)

教育長 答弁

特別支援教育への社会的ニーズに的確に対応するため、特別支援教育を包括的に所管する特別支援教育課を新設した。本市には3校の市立高等学校があり、明鏡高等学校には発達通級指導教室を設置し、万代高等学校、高志中等教育学校へは発達通級担当者が教育相談を行っている。今後は担当者の増員を検討する。また、県立高等学校は県の対応となるが、新潟市教育相談センターでは、県立、市立、私立を問わず相談があれば受け入れ対応している。



市長・教育長 答弁

女性管理職の登用は、多様性、新たな視点、持続可能な組織運営など様々な効果が想定される。他の部署と組織上の課題を共有するとともに、女性リーダー研修やキャリアデザイン研修、働く女性同士の交流会等を開催する。また、多様な部署への配置を積極的に行うとともに、固定的な性的役割分担意識の解消、家庭生活との両立が可能な職場環境づくりに取り組み、2025年度に30%以上の目標達成に努める。



土木部長・西区長 答弁

西区において、飛砂対策に要する費用が道路清掃費に大きな影響を与えていることは認識しており、効果的な事業執行が可能となるよう予算編成に向けて検討していく。また、民地に堆積した飛砂の問題は、市民の安心安全に関わる大きな課題と捉え、引き続き必要な飛砂対策を講じるとともに、海岸管理者である県に、飛砂の発生源となる海岸での抜本的対策を求めていく。

特別支援教育 学びの場

子どもの個性や課題を把握し、障がいの種類や程度に応じて必要な支援をします。

- 保護者や本人の希望を尊重しながら、市の就学支援委員会の判定を経て就学先を決定します。
- 特別支援学校 日常生活で手厚い支援が必要な子どもが対象。障がいに配慮した施設・設備を整備
- 特別支援学級 日常生活で部分的に支援が必要な子どもが在籍。小・中学校内に設置
- 通級移動教室 各区に1~3カ所設置。通常の学級に在籍する子どもにも週1回程度個別の支援を行う

(市報にいかた2781号1面 HPより)